



【校訓】 正直に生活し 進んで学び 人に害せず 自己を守り 人と社会のために奉仕する

令和7年度学校経営計画



「明日も行きたくなる！」心地よい風が吹く

Well-Being な学校を目指して！

廿日市市立廿日市中学校

※ Well-being(ウエルビーイング)とは…

心も身体も社会的にも“満たされた状態”であり、実感としての幸せ、心の豊かさを表す言葉

【学校教育目標】

本校で学んだことに誇りを持ち、高い志のもと「自立した社会人」として活躍できる生徒の育成

校訓はこうして生まれた

昭和22年、廿日市中学校は、県立廿日市工業学校（現廿日市高等学校）の古い校舎の一部を間借りして出発しました。

旧廿日市町の町長であり、文学博士でもあった、佐伯 好郎（さえき よしろう）氏が、宇品造船から今の校地を買い取られ、昭和24年3月11日に中学校木造校舎が立てられました。

苦勞して現在の校地を購入し、廿日市中学校の基礎を創ってくださった佐伯博士は、本校創設の父と言われています。

その佐伯博士が、開校の祝辞で、「**正直に生活し 人を害せず 自己を守り 人と社会のために奉仕せよ**」と教職員や生徒たちに訓示をされました。その言葉に、後に「**進んで学び**」という言葉が加わって、現在の廿日市中学校の校訓となりました。

この校訓には、【誠実・実行】【自主・自立】【自他の尊重】【博愛・奉仕】という思いが込められており、本校では、先人のお言葉でもあるこの校訓を大切にしながら、日々様々な教育活動に取り組んでいます。



こんな力を身に付けてほしい

常に変化する時代に対応し、高い志をもって「自立した社会人」として活躍できるように、10年後、20年後の将来を見据えて、生徒には、次のような資質能力を身に付けてほしいと願っています。

「自主性・主体性」

「思考力・表現力」

「自己有用感」

そのためには、その土台となる「明日も行きたくなる！」心地よい風が吹く Well-Being な廿日市中学校の存在が必要です。

Well-Being を実現するために

Well-Being な廿日市中学校を実現するためのキーワード

【挑 戦】

夢や目標に向かって挑戦し続ける

【感 謝】

相手意識をもって、感謝の気持ちを大切にする

【プラス思考】

プラス思考で、失敗を無駄にしない

【自分らしく】

自分らしさを失わず、自他を尊重できる

生徒・保護者・地域・教職員にとって、Well-Being な廿日市中学校を実現するために、「挑戦」「感謝」「プラス思考」「自分らしく」の気持ちを大切にして、それぞれの立場で、様々な教育活動に取り組んでいくことが

できればと思っています。

「明日も行きたくなる！」心地よい風が吹く Well-Being な学校を目指して

廿日市中学校では、こんなことに取り組みます！

(学校経営ビジョン)

1 生徒の「主体的な学び」を推進します

- 多様な生徒への支援を行うため、ユニバーサルデザインの考え方に基づいた「焦点化」「視覚化」「共有化」を意識した授業づくりに取り組みます。
- 授業等において、生徒の情報活用能力を育成したり、生徒の特性や学習進度、学習到達度に合わせた学びに役立てたり、思考や表現の幅を広げたりするため、1人1台あるタブレット端末等の ICT を有効に活用します。



- 生徒一人一人が、自らの学習を調整しながら進めていく「個別最適な学び」と、他者との異なる考え方を生かして、よりよい学びを生み出す「協働的な学び」の 一体的な充実を図り、生徒に身に付けさせたい資質能力を育成します。
- 生徒が自分のよさや可能性を認識し、主体的に進路を選択する能力や態度を育成するため、キャリア教育の充実を図ります。



- 生徒が言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身に付けるよう、朝読書などの 読書

2 安心して楽しく通える魅力ある学校を目指します

- 生徒会活動を活性化し、よりよい学校生活を目指す生徒の主体的な活動を応援します。



- 行事や清掃活動など、組ブロックによる 縦割り集団活動を充実し、異学年集団による縦のつながり深めます。



- グループアプローチや環境づくりに取り組み、いじめのない 自他を尊重できる学級集団づくりに取り組みます。
- 廿日市中学校区において、小・中9年間を見通した学校間連携・協力体制づくりを行い、適切な生徒理解につなげます。
- 保護者の思いを受け止めながら、生徒一人一人の気持ちに寄り添い、すべての生徒の居場所づくりと学習支援に取り組みます。
- 生命を大切にする考えや自他の権利を尊重する態度等を育成するため、「命の安全教育」や「情報モラル教育」の 充実を図ります。
- 通級指導教室を開設し、生徒の不安や困り感に対応します。

活動の充実を図ります。

3 保護者・地域とともにある学校づくりを推進します

- 学校や地域における様々な課題や目標等を保護者・地域と共有し、さらによりよい学校運営を目指します。
- 地域学校協働本部（おおとり応援団）と連携・協働し、生徒の成長を支えます。



- 総合的な学習の時間等において、地域資源を活用するなどし、「ふるさと学習」の充実を図ります。



- 生徒会地域活動部隊（BIGAS）を中心とした生徒の主体的な地域応援・地域貢献活動を支援します。
- 「はっちゅうこども食堂 TOMO」の取組を通して、地域とのつながりや食育を推進します。



4 風通しのよい職場づくりを目指します

- 教職員の働き方改革の意識を醸成し、業務の効率化による「働きやすさ」を実感できる環境づくりに取り組むことで、教育の質の維持・向上を図ります。



- 生徒との関わりを通して、心のつながりや成長を実感したり、授業や行事で達成感を得たりする教職員の「働きがい」を大切にします。



- 情報をタイムリーに共有するため、速やかな「報告・連絡・相談」に努めます。
- 教職員同士の円滑なコミュニケーションを通して同僚性を高め、不祥事を生まない職場づくりに努めます。



主な学校行事（PTA 行事）・地域行事（予定）

実施時期	学校行事（PTA 行事）	地域行事
4月	1 学期始業式 入学式 （PTA 総会）	佐方れんげ祭り
5月	体育祭	
6月	中体連春季総合体育大会 1 学期末試験 （PTA 春の花植え）	
7月	1 学期終業式	佐方夜市夏祭り
8月	キャリア・スタート・ウィーク（2年） 広島学習（1年） （PTA クリーン作戦）	佐方地区親善盆踊り大会 廿日市地区夏祭り
9月	2 学期始業式 2 学期中間試験	廿日市地区敬老会 佐方地区敬老会 佐方市民フェス 佐方秋まつり（佐方会館）
10月	中体連秋季総合体育大会 文化活動発表会 （PTA 秋の花植え）	廿日市天満宮神輿行列 佐方地区親善運動会
11月	2 学期末試験 （市 P 連親善競技大会）	廿日市地区市民運動会 子どもまつり 佐方会館まつり 廿日市中央市民センターまつり
12月	2 学期終業式	
1月	3 学期始業式 修学旅行（2年） 宮島学習（1年） 学年末試験（3年）	佐方とんど祭り
2月	学年末試験（1・2年）	交通安全マスコットづくり
3月	3 年生を送る会 卒業式 修了式 離任式	交通安全マスコット配布

